



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://www.kito.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 専務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 野村 博 TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,004	19.3	337	34.6	166	89.8	13	△48.5
23年3月期第2四半期	12,571	13.0	250	191.8	87	10.2	26	516.4

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △262百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △500百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	107.74	107.23
23年3月期第2四半期	221.30	219.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,383	15,185	51.6
23年3月期	28,151	15,706	53.8

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 14,645百万円 23年3月期 15,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
24年3月期	—	1,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	17.5	1,550	38.4	1,350	52.5	700	65.3	5,438.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.5「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	135,241 株	23年3月期	135,241 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,523 株	23年3月期	6,523 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	128,718 株	23年3月期2Q	121,706 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

連結経営成績（会計期間）（平成23年7月1日～平成23年9月30日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,412	25.4	454	92.2	311	58.7	176	47.2
23年3月期第2四半期	6,708	13.7	236	122.4	195	182.4	119	392.4

（注） 包括利益 24年3月期第2四半期 Δ 138百万円（—%） 23年3月期第2四半期 Δ 227百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,371.56	1,365.53
23年3月期第2四半期	985.64	976.77

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 13
(5) セグメント情報等	P. 13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、全般的に緩やかな回復傾向が持続いたしました。欧州金融危機の影響による世界経済の減速が懸念されましたが、当社グループを取り巻く事業環境は、北米及び中国を中心としたアジアに牽引され、概ね堅調に推移いたしました。また、日本では、東日本大震災からの復旧・復興に伴う需要が顕在化してまいりました。

このような環境の下、当社グループにおいては、主力生産拠点である本社工場における電力不足及び部品の供給不足など震災影響の混乱のなかでも生産の復旧に努め、出荷遅延による受注残も9月末時点でほぼ解消するに至りました。更に、当社グループにおいて、今期よりスタートいたしました「中期経営計画」の下、①営業ネットワークの拡大、②生産のグローバル展開、③新事業領域の拡充、に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、15,004百万円（前年同期比19.3%増）となりました。利益につきましては、1ドル70円台半ばの円高が定着した影響により、連結営業利益337百万円（前年同期比34.6%増）に留まり、さらに営業外費用として外貨建て売掛金及び預金等の評価損により、連結経常利益は166百万円（前年同期比89.8%増）、連結四半期純利益は13百万円（前年同期比48.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
日本	9,245百万円 (20.7%増)	543百万円 (227.4%増)
北米	3,730百万円 (14.7%増)	65百万円 (60.1%減)
アジア	5,331百万円 (32.6%増)	504百万円 (8.4%減)
欧州	575百万円 (5.7%増)	△68百万円 前年同期は200百万円の営業利益

(日本)

売上高は、海外需要が堅調だったことに加え、急激な円高によって不均衡になったグループ内取引価格の調整を行った結果、9,245百万円と前年同期に比べて20.7%の増加となりました。その結果、営業利益は543百万円（前年同期比227.4%増）となりました。一方、日本国内向けの売上高は、東日本大震災からの復興需要として手動品を中心に売上が堅調に推移し、5,138百万円と前年同期に比べて18.8%の増加となりました。

(北米)

北米では、マクロ経済指標としての設備稼働率は上昇基調が持続し、当社グループにおいても堅調な需要が継続し、現地通貨ベースで米国が29.8%、カナダが11.1%の売上増加となりました。しかしながら、為替の影響もあり、日本円換算後の売上高は3,730百万円と前年同期比14.7%増加に留まりました。営業利益は、グループ内取引価格の調整に加え、震災影響による出荷遅延の中、お客様へのデリバリー短縮を優先した結果、輸送費が増加し、65百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

(アジア)

アジアでは、経済成長の下、引き続き投資活動が活発な状況で推移いたしました。特に、中国、タイにおいては、東日本大震災を契機とした日系企業の進出及び追加投資が顕著に増加いたしました。当社グループにおいては、日系企業のこのような動きを現地で支援する活動を行った結果、売上高は5,331百万円と前年同期に比べて32.6%増加しました。一方利益につきましては、グループ内取引価格の調整や人件費の上昇により、営業利益は504百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

(欧州)

出荷遅延の影響があったものの、受注は堅調に推移し、売上高は575百万円と前年同期に比べて5.7%増加いたしました。しかし、グループ内取引価格の調整等により、営業損失68百万円（前年同期は20百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は28,383百万円と前連結会計年度末に対し231百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少907百万円、商品及び製品の増加328百万円、仕掛品の増加674百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は13,198百万円と前連結会計年度末に対し752百万円増加いたしました。これは、短期借入金金の増加786百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は15,185百万円と前連結会計年度末に対し521百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少114百万円、為替換算調整勘定の減少397百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は4,466百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは△329百万円と前年同期比1,905百万円の支出増となりました。これは、税金等調整前四半期純利益153百万円、減価償却費451百万円、たな卸資産の増加1,462百万円、仕入債務の増加411百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△836百万円と前年同期比320百万円の支出増となりました。これは、有形固定資産の取得による支出571百万円、投資その他の資産の増加319百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは381百万円と前年同期比148百万円の収入減となりました。これは、短期借入れによる収入807百万円、社債の償還による支出150百万円、親会社による配当金の支払額131百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、受注状況及び円高の定着などを見込み、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は、平成23年11月10日公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成24年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて税金費用を計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率で計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、219円13銭であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,393	4,485
受取手形及び売掛金	5,510	5,090
商品及び製品	4,495	4,823
仕掛品	1,259	1,934
原材料及び貯蔵品	655	871
その他	1,099	1,403
貸倒引当金	△44	△40
流動資産合計	18,369	18,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,443	2,501
機械装置及び運搬具（純額）	2,097	1,992
その他（純額）	2,258	2,198
有形固定資産合計	6,799	6,692
無形固定資産		
のれん	831	698
その他	215	186
無形固定資産合計	1,047	885
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,157	1,234
その他	750	979
投資その他の資産合計	1,908	2,214
固定資産合計	9,755	9,792
繰延資産	27	22
資産合計	28,151	28,383

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,109	5,326
短期借入金	281	1,067
未払費用	1,103	1,080
未払法人税等	158	157
引当金	334	335
その他	1,181	1,132
流動負債合計	8,169	9,100
固定負債		
社債	1,600	1,450
長期借入金	420	360
退職給付引当金	2,032	2,047
役員退職慰労引当金	125	128
その他	97	112
固定負債合計	4,275	4,097
負債合計	12,445	13,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,199	5,199
利益剰余金	8,523	8,408
自己株式	△587	△587
株主資本合計	17,113	16,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△4
為替換算調整勘定	△1,950	△2,348
その他の包括利益累計額合計	△1,954	△2,352
新株予約権	25	31
少数株主持分	521	507
純資産合計	15,706	15,185
負債純資産合計	28,151	28,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	12,571	15,004
売上原価	8,672	10,621
売上総利益	3,899	4,382
販売費及び一般管理費	3,648	4,045
営業利益	250	337
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	—	0
その他	88	86
営業外収益合計	95	96
営業外費用		
支払利息	13	30
為替差損	200	180
その他	44	56
営業外費用合計	258	267
経常利益	87	166
特別利益		
償却債権取立益	4	—
負ののれん発生益	19	—
保険解約返戻金	18	—
特別利益合計	42	—
特別損失		
環境対策引当金繰入額	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
会員権評価損	0	—
固定資産除却損	—	12
特別損失合計	28	12
税金等調整前四半期純利益	101	153
法人税等	28	78
少数株主損益調整前四半期純利益	72	74
少数株主利益	45	60
四半期純利益	26	13

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	72	74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△0
為替換算調整勘定	△575	△337
その他の包括利益合計	△572	△337
四半期包括利益	△500	△262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△532	△384
少数株主に係る四半期包括利益	31	121

第2四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,708	8,412
売上原価	4,673	5,948
売上総利益	2,035	2,464
販売費及び一般管理費	1,798	2,009
営業利益	236	454
営業外収益		
受取利息	3	6
その他	47	40
営業外収益合計	50	47
営業外費用		
支払利息	7	16
為替差損	62	138
その他	21	35
営業外費用合計	91	191
経常利益	195	311
特別利益		
保険解約返戻金	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
会員権評価損	0	—
特別損失合計	15	—
税金等調整前四半期純利益	198	311
法人税等	56	101
少数株主損益調整前四半期純利益	142	209
少数株主利益	22	32
四半期純利益	119	176

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142	209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△1
為替換算調整勘定	△371	△346
その他の包括利益合計	△369	△348
四半期包括利益	△227	△138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△227	△206
少数株主に係る四半期包括利益	△0	67

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	101	153
減価償却費	491	451
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8	16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11	2
受取利息及び受取配当金	△6	△9
支払利息	13	30
売上債権の増減額 (△は増加)	1,023	215
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△350	△1,462
仕入債務の増減額 (△は減少)	688	411
未払費用の増減額 (△は減少)	14	29
その他	△102	196
小計	1,848	32
利息及び配当金の受取額	6	16
利息の支払額	△14	△29
法人税等の支払額	△298	△348
法人税等の還付額	29	—
その他	4	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,575	△329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△439	△571
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△13	△6
差入保証金の回収による収入	—	98
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△55	△319
その他	△9	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515	△836
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	807
短期借入金の返済による支出	△1,233	—
長期借入れによる収入	600	—
長期借入金の返済による支出	—	△60
社債の発行による収入	1,000	—
社債の償還による支出	△150	△150
配当金の支払額	△121	△131
少数株主への配当金の支払額	△62	△81
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	530	381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△218	△124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,371	△909
現金及び現金同等物の期首残高	5,361	5,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,732	4,466

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	5,009	3,253	3,765	543	12,571	—	12,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,648	—	253	0	2,903	△2,903	—
計	7,658	3,253	4,019	544	15,475	△2,903	12,571
セグメント利益	165	163	550	20	899	△649	250

(注) 1 セグメント利益の調整額△649百万円には、たな卸資産の調整額22百万円、引当金の調整額△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△670百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「アジア」において、当社連結子会社である江陰凱澄起重機械有限公司に出資を行いました。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	5,779	3,730	4,919	574	15,004	—	15,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,465	0	412	1	3,879	△3,879	—
計	9,245	3,730	5,331	575	18,883	△3,879	15,004
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	543	65	504	△68	1,044	△707	337

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△707百万円には、たな卸資産の調整額△14百万円、引当金の調整額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△687百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。